



# 今年のイカナゴ漁況について

(第一報)

## ①現在の海況はどうか

昨年暮までは暖冬気味だったが、年が明けて去る一月八日に来襲した寒波はかなり厳しく、大阪湾、播磨灘の水温は急速に下降し、ほぼ例年水温に達した模様である。

今月の観測は、寒波来襲の直前に実施されたので、両海域の水温はまだ例年より一〇・〇〜一五度C高目を示していた。

水産、塩素量の分布は第一図の通りであるが、塩素量の分布は異常寒冷現象のみられた昭和三十八年冬期と同様播磨灘では十八度台となり、よく似てきた。また広島(尾道)岡山方面の水温下降経過から、内海東部寄りに水温低下の程度が大きい(内水研尾道試験地)といわれている。

## ②イカナゴの産卵状況は順調であるか

産卵状況に関しては、親魚(ブルセ)の年令組成と生殖腺の成熟状態を知る必要がある。

まず親魚の年令組成であるが、例年の組成は一年魚と二〜三年魚の割合が六対四程度だったが、今年は一表の通り一年魚の割合が極めて多く、二年魚が主体となっている。これは昨年(三十九年)に生まれたイカナゴが極めて多く、三十八年生まれのものがかなり多かつたことを示している。

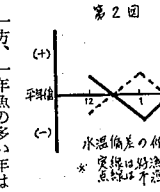
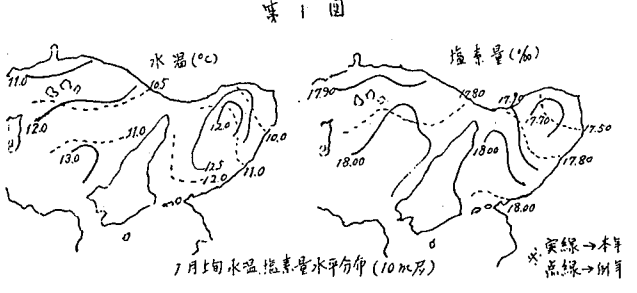
したがって、親魚全体の量としては例年よりかなり少ないものと思われる。親魚の数が少いことにより、一応産卵量も少いことが考えられるが、イカナゴの場合、あまり気にすることではなく、従来からの調査結果ではむしろ産卵期の海況が大きな要因(好・不漁の)となつてきているようである。

最近八ヶ年の親魚の組成は表の通りだが、〇印の三十六年は豊漁の年で年令組成では二対八と二〜三年魚が多く、△印の三七、三九は不漁の年で一年魚の割合が大であった。さて今年は一、二年魚二四、二〜三年魚七六で好漁であった三十六年とはほぼ似た組成を示している。

ここで、一年魚の多い年は、親魚の量が多いため、実際の漁獲量が多くなるといえる(第二表)。それにもかかわらず、比較的年齢の少ない場合が多いのはなぜかということがある。これは、一方、一年魚の多い年は見掛け上産卵量が多いようだが、その年の一年魚自体の体長は小さく、抱卵数も少ないので、実際には大差はないと思われる。一方生殖腺の成熟度合はほとんど総適かといつても可い。

イカナゴの生殖腺で、一年魚は二五〜三〇%内外に達するが、昨年十二月月上旬の魚体では、一年魚は一八〜二〇%、二年魚は二一〜一五%で、例年の増加傾向よりやや早い模様であった。

この傾向と大阪湾播磨灘の水温下降の状況及び一月



第1表 親魚年令組成の年次変動

年令	32	33	34	35	36	37△	38	39△	40
1年魚	73%	66	×	51	20	77	54	73	24
2〜3年魚	27	34	×	49	80	23	46	27	76

第2表

年次	漁獲尾数(億尾)
33	2.89
34	7.90
35	2.88
36	6.85
37	12.76
38	3.61
39	20.54以上
40	未

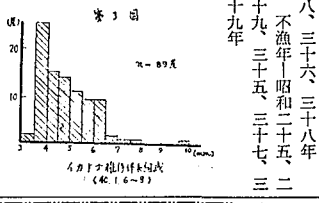
③産卵期の海況が重それについて

親魚の産んだ卵が、すべて順調に孵化し、成長すれば、莫大な量の当才魚(シラノコ)が漁獲される筈である。しかし魚類では、特にイカナゴのような低年令魚種では、孵化後シラスに至るまでの減耗が非常に大きく、この期間にどの程度生き残るかが問題となる。

最近の両海域におけるイカナゴの産卵盛期は十二月下旬で、その頃の水温で孵化するのは九〜十日間を要し、一月月上旬頃に多くのものが孵化し表層に浮游し始める。

④一月月上旬の観測で稚仔はとられたか

今年から広島(尾道)以西の海域で、イカナゴの共同調査を実施することになった。



上旬に採集した稚仔の体長組成から、産卵盛期は昨年十二月月中旬後半から十二月下旬だったと推定される。

産卵期は、鹿の瀬川を最大として、家島、淡路南、淡路東部の四海域に別部されたが、以上の産卵域に浮上した稚仔が、いかに広く散らばるかによって当才魚の好・不漁が決定される。

つまり、海がいかにシケるかによっている。シケるのも稚仔の大半が孵化し、かなり成長してからでは遅すぎる。丁度孵化し始めた頃(一月月上旬)にシケの強さがよく、二〜三月は不適である。したがって今年は今時点(一月中旬)では適当な海況であったと思われる。

海がシケるのは低気圧や寒波の来襲、それにもなると西の季節風の吹寄せによる。当然風速も低下する。ここで過去の好・不漁年の水温下降の状態を第二図に模式的に表わして見た。不漁年は暖冬(一月)の場合、好漁年は寒冬であるが春が早くつくる年といえる。

好漁年一昭和十三、三十八、三十九、三十五、三十七、三十九年

不漁年一昭和三十五、三十八、三十九年

### コンブ養殖試験およびワカメ養殖について

昨年11月12日北海道有珠郡、道立水試有珠分場から原藻をとりよせ遊走子づけをしたコンブ種苗はその後も順調に育成し、1月20日現在、葉長5ミリ位に達している。種糸はクレモナ20番手36本でワカメ種苗と全く同じ器材、要領で採苗、培養ができる。この沖出し、培養は西淡町阿賀賀では鉄枠養殖器により、香住町柴山では傘型コンクリートブロックにより(ワカメ養殖誌本参照)1月19日、20日に既に設置し、このほか高砂・明石・神戸市塩屋で純養成をする予定で、各地を比較しながら育成状況を調査し、県下におけるコンブ養殖の可否を見究めたいと考えている。

ワカメ養殖も早いところでは既に出荷を始めているが、成体に達したもののうちで水面下1メートル以浅の葉体の中には早くも尖枯れ症状を呈したものが現れている。今後照射しはほとんど強くなるので2月中旬は水面下2〜3mm、3月に入ると3〜4mmと次第に張込み水位をさげるほうがよい。(井伊)

### ふぐはなぜふくれるのでしょうか

まずふぐがふくれるのは、腹部の消火管の一部に空気が入り、水をはき出して、その体をつくります。魚がよけを吐き出すとき、ふぐは腹部の消火管を縮め、空気を吸い込み、水をはき出して、その体をつくります。魚がよけを吐き出すとき、ふぐは腹部の消火管を縮め、空気を吸い込み、水をはき出して、その体をつくります。

次に、ふぐが腹をふくらます動機については、自分自身の体を大きくして敵をおどす、ためた空気を呼吸に使ったり、ふくらんだ体で漂流するなどの目的も、どれもいさめがありますが、これに比べて、ふぐは腹をふくらまして、口から水を吸い込み、口から空気を送り込み、出た水から水を吹き出して、口から強くおどかして、由來するところの考えです。つまり、口から水を吹き出して、海底で餌をさがす魚の習性です。腹の膨らみは胃に水たまりの役割をさせるようなもの。自衛、おどかし手段です。

### 原稿募集

読者のみなさんからの、お気軽な投稿をお待ちしております。

応募要領

1. 表題
2. 種類・提案・現地レポート・コント・川柳・詩の種別を問いません。
3. 字数 一、〇〇〇字以内
4. 投稿 住所・氏名・所属組合名・役職名・年齢を原稿末尾に記すのうえ、神戸市兵庫区新在家町一三三 水産会館「兵庫漁業振興会」編集係宛にお送りください。
5. 締切 毎月十五日
6. その他 誌上に掲載させていたただいた分には、記念品をお送りいたします。

### 原稿募集

読者のみなさんからの、お気軽な投稿をお待ちしております。

応募要領

1. 表題
2. 種類・提案・現地レポート・コント・川柳・詩の種別を問いません。
3. 字数 一、〇〇〇字以内
4. 投稿 住所・氏名・所属組合名・役職名・年齢を原稿末尾に記すのうえ、神戸市兵庫区新在家町一三三 水産会館「兵庫漁業振興会」編集係宛にお送りください。
5. 締切 毎月十五日
6. その他 誌上に掲載させていたただいた分には、記念品をお送りいたします。

### 《いつも漁場に一番のり》

## ヤマディーゼル

ディーゼルの総合メーカー・クボタ 主機用4〜380馬力/補機用8〜1,000馬力

●S1B形10馬力 ●6MG形90馬力 ●3MC形25馬力

ボクヤ特約店

- 平野 豊工所 徳島県家島町高島 TEL228
- 船橋 豊工所 徳島県吉野町区町 TEL0124
- 南島 豊工所 三原郡三河町 TEL134
- 神前 豊工所 神戸市兵庫区門町 TEL07549
- 徳島 豊工所 徳島県徳島市 TEL2163
- 北島 豊工所 徳島県淡路町 TEL448
- 高島 豊工所 徳島県阿波市 TEL471
- 米島 豊工所 徳島県阿波市 TEL75
- 寺前 豊工所 徳島県徳島市 TEL2163

### 早く漁場へ、早く市場へ

## ヤマディーゼル

●船舶主機用/3〜800馬力

●2ST形12馬力 ●NTS70R形3馬力

●E形(8馬力) ●E形(10馬力)

ヤンマーディーゼル株式会社

本社 大阪府北區茶屋町6-2  
支社 大阪府東區南船場1-1  
支社 大阪府東區船場1-1

（思）世の記 ①

最初の冒険

風 来 漁 人

私の祖父は海に舟の中 田から獲りて来た人... 釣師が無数にこの村から出てきて、夏の炎天下の、下...

組合長訪問

神戸市西部漁業協同組合 組合長 山田岸松



駒ヶ林から舞子までの旧漁業組合が合併して神戸市西部漁業協同組合が誕生したの昭和三十四年十月、早五年有餘の歳月が過ぎ去った。不肖私が初代組合長という大役を承ったわけであるが、正直なところ当初は全く五里霧中、どこから手をつけるべきか、十人よれば十色というが、組合の場合同じ、七つの組合にうなずいた組合をつくらねばならぬ。

情熱だけが生甲斐

これを一つにまとめること、やり遂げるには、一体何を... 流石の私も昨今の難境にあつては先ず「人の和」という事、引受けし以上、そんなには私は気が付いたのだ。

父の遊業会社（旋網）にま... 大きな病つきとなるからには、孫のわれわれが家業の眼事よりも海に身をま...

これはハケツに泳がせて跳... くるたのしき、その魚の美しさは他のおもしろいもの...

私は何時も思ふ。どんな仕事でも、「人の和」という... ガツチリとした基礎があつて始めて成功するものであ...

二、販売、購買、信用の三... 事は、組合運営の三本の柱である。この三本を、事...

池の堤には稲わらを積み... 上げたわらぐらというものがあつて、そのかげがらうも...

その時突然からだがかゆ... 上がつて顔が水面に出た。胸一ぱい吸いこんだのは...



県外出漁に関するアンケートの結果について

但馬地区青年グループでは最近県外出漁への関心が非常に高まっている。過般香住漁友会（香住町漁協青年グループ）が、香住漁協員に対し、アンケート調査を行なったので、その結果の一部を紹介しておく。調査年月日 昭和40年1月 調査対象 沿岸漁業者50名（県外出漁経験者） 回答数 25名 備考 1. 対馬海域へ出漁している者が5名あり、この調査から脱落している。 2. 設問に対し、必ずしも1つの答を求めているないので、比率の合計は100%にならない。

Table with 2 columns: Question (問) and Answer (答). Questions include: 'How do you think about county fishing?', 'How many times have you gone county fishing?', 'Where are the main fishing grounds for county fishing?'

Table with 2 columns: Question (問) and Answer (答). Questions include: 'How high is the catch when county fishing?', 'What is the relationship with local fishermen when county fishing?', 'How is the fish selling when county fishing?'

Table with 2 columns: Question (問) and Answer (答). Questions include: 'When county fishing, how is the value of fish?', 'When county fishing, how is the living conditions?'

